

## 令和7年第4回定例会 一般会計予算決算常任委員会審査記録

- 1 日 時 令和7年12月16日(火) 午前9時58分  
2 場 所 市役所 第1委員会室  
3 議 題 議第180号 令和7年度村上市一般会計補正予算(第11号)  
4 出席委員(20名)
- |     |        |     |        |
|-----|--------|-----|--------|
| 1番  | 魚野ルミ君  | 2番  | 佐藤憲昭君  |
| 3番  | 野村美佐子君 | 4番  | 富樫光七君  |
| 5番  | 上村正朗君  | 6番  | 菅井晋一君  |
| 7番  | 富樫雅男君  | 8番  | 高田晃君   |
| 9番  | 小杉武仁君  | 10番 | 河村幸雄君  |
| 11番 | 渡辺昌君   | 12番 | 尾形修平君  |
| 13番 | 鈴木一之君  | 14番 | 鈴木いせ子君 |
| 15番 | 川村敏晴君  | 16番 | 姫路敏君   |
| 17番 | 長谷川孝君  | 18番 | 大滝国吉君  |
| 19番 | 山田勉君   | 20番 | 三田敏秋君  |
- 5 欠席委員(なし)  
6 説明のため出席したもの(なし)  
7 議会事務局職員

局 長	内山治夫
次 長	鈴木 渉
書 記	河内真人

(午前9時58分)

委員長(大滝国吉君)開会を宣する。

○本日の審査は、議第180号 令和7年度村上市一般会計補正予算(第11号)について、それぞれ、各分科会長の審査報告後、質疑を行う。

**日程第1** 議第180号 令和7年度村上市一般会計補正予算(第11号)を議題とし、議第180号 令和7年度村上市一般会計補正予算(第11号)について、総務文教分科会会長 高田晃君から審査の概要について報告を受けた後、総務文教分科会報告についての質疑を行い、市民厚生分科会会長 鈴木一之君から審査の概要について報告を受けた後、市民厚生分科会報告についての質疑を行い、経済建設分科会会長 河村幸雄君から審査の概要について報告を受けた後、経済建設分科会報告についての質疑を行う。

総務文教分科会

(報告)

高田総務文教分科会会長 ただいま上程されております、議第180号令和7年度村上市一般会計補正予算(第11号)のうち、総務文教分科会の所管する審査範囲について、その審査の概要と結果についてご報告申し上げます。去る12月9日、市役所第1委員会室において分科会委員、委員長、副市長をはじめ、理事者出席のもと、総務文教分科会を開会いたしました。初めに歳入について担当課長から説明を受けた後、質疑に入りましたが、質疑なく、次に

歳出についての説明を受けた後に質疑に入りました。なお、第10款 教育費の説明において、今定例会初日の本会議で質問のありました学校のトイレ不具合について、学校教育課長からその調査結果についての報告があり、全小中学校を調査した結果、ウォシュレットの故障はなく、暖房便座の不具合等が4件あり、修理を依頼したとの報告がありました。第1款 議会費、第2款 総務費、第9款 消防費についてはさしたる質疑なく、第10款 教育費について、委員より、自走式草刈り機の購入は草刈によってガラスを割ったりしたが、そういうものを防止しようという意図かとの質疑に、今まで飛び石で事故があったのはチップソーの作業だった。すべてをチップソーでやると2人がかりで非常に時間がかかることから、平たんなところを自走式草刈り機で処理すれば、現場の負担も軽くなるということで購入したとの答弁。委員より、学校に配置した自走式草刈り機を例えば地域や町内に貸すことはできるのかとの質疑に、今までそういった声も出なかったもので、現時点ではそこは想定してなかったが、管理の問題や故障対応といった問題をクリアしないと実現させるのは難しいとの答弁。第13款 諸支出金、第14款 予備費、第2条 第2表継続費補正については質疑なく、第3条第3表の債務負担行為について、委員より校歌制作業務委託はどこにどのような形で委託するのかとの質疑に、小川小学校と朝日みどり小学校の統合推進委員会に協議していただいて、決定されたもので、これまで朝日地域の学校の校歌を作っていたいただいた大滝雄志先生に依頼したいとの答弁。委員より、数年後に朝日さくら小学校とまた統合する計画もあるが、統合のたびに校歌を制作するのか、それとも、今回製作する校歌を次の統合があっても引き継ぐのかとの質疑に、新設される朝日小学校と朝日さくら小学校の統合の検討会で、校歌についても決定していただく流れになるとの答弁。第4条 第4表地方債補正は質疑はありませんでした。以上の通り質疑を終結し、自由討議を求めたが自由討議なく、賛否態度の発言を求めたが、発言なく起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第180号のうち、総務文教分科会所管分については、起立全員にて原案の通り可決すべきものと態度を決定しました。以上報告を終わります。

---

#### 総務文教分科会

(質 疑)

姫路 敏

小学校の整備の金で、整備の予算の中でいわゆる初日に私のほうから、瀬波小学校のほうのいわゆる便器について、大便器って女性は女子のほうは大便も何も一緒なんでしょうけども、大便器と称するものの中の、和風大便器っていうのが、瀬波小学校は4つございまして、あと残りの26個はウォシュレット型の便器。ウォシュレット型の便器で、ある父兄から、それがリモコンで作動しないみたいだということ聞いたものを、そういうんだっていうことでそのまま小学校のほうに連絡して、見てもらえないかってどこだかわかんないけどもっちゃうことなんで、教育委員会のほうにも私、学校教育課長のほうにも電話したら、じゃあ調べてその結果を報告してくれないかっていうことを、いただいたんですよそれ。それが26あったウォシュレット型のうち、14基が、リモコンが作動しない。14基のうち、半分以上ですよ14基地は。半分で26のうち14基が、この14基のうち3基はリモコンが、いわゆる電池が腐れたような状態で、基盤故障のためリモコンそのものを交換しなきゃいけないと。11基はリモコンの電池切れでしたと、こういう話あったんですよ。私がいよいよそんなのであれば、瀬波小学校に限らず小学校全体、中学校も含めて全体的にそういう現象が起きてるんじゃないんですかって言ったら調べてみますと。その結果がおそらく、いわゆる常任

委員会の報告の中で、みんな調べたけど、今聞くとなんか暖房の便座の3つぐらいあったってことで分科会長から今ありましたけども。それだけで終わってるのかなと思って委員会の質疑もなしでそれで、ということだったんですか。

高田 晃 特に瀬波小学校個別の学校の細かい、姫路議員から本会議で質問のあった、細かい説明はなかったのですが、一応、その後、学校教育課で調査した結果こうでしたと、いうふうな報告でした。

姫路 敏 私はね、それは本当なのかって疑問を感じるわけですよ。調べた結果、全部調べた結果、異常はなかったっていうのが不思議でしょうがないですよ。瀬波小学校だけ突出してそんななっていたのかなって思わざるをえないっちゃうか。それに対して私委員の皆さんが疑問を感じないことがものすごく不思議でしょうがないんですけども。どうやって他の小学校はその便器の、ウォシュレットのリモコンの管理ってどうやってたんだろう。何ヶ月に1回か電池みんな取りかえたり、用務員さんが全部調べてたのかっていうところなんですよ。そういう疑問を抱かないのかなあ、そういう質疑は分科会長が言うようになかったにしても、そのまま通り過ぎていることが私は非常に疑問ですけど。なかったっちゃうことで、それしかもう返答しようないすよね。中身知らないですから。わかりました。自由討議でちょっとやりたいと思います。

大滝委員長 その他ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

---

## 市民厚生分科会

(報告)

鈴木市民厚生分科会長 ただいま上程されております、議第180号、令和7年度村上市一般会計補正予算(第11号)のうち、市民厚生分科会所管分については、去る12月10日、市民厚生常任委員会の審査に引き続き、市役所第1委員会室において分科会委員全員、議長、正副委員長、副市長及び理事者出席のもと、市民厚生分科会を開催いたしました。その審査概要と結果についてご報告いたします。初めに歳入について担当課長から説明を受けた後、質疑に入りました。第15款 国庫支出金、民生費国庫補助金について、委員より、市内の民間幼稚園が施設型給付を受ける施設に移行するための給付金について、今までとどう変わるかとの質疑に、その幼稚園は幼稚園として運営してきたが、子ども子育て支援法という新しい法律が施行されたため、本来はこの法律に移行していくはずだったが、移行せず、旧法のままでいたと。そのため、これまでは県の補助金だけを頼りに運営してきたが、今後は国、県、市から補助を受け、運営することになるとの答弁でありました。次に、歳出について、担当課長から説明を受けた後、質疑に入りました。第2款 総務費、マイナンバーカード事務経費について、委員より、マイナンバーカードの交付率と、保険証につないでいる割合についての質疑に、マイナンバーカードの交付率については、令和7年11月末現在で82.9%。国民健康保険加入者の保険証の登録率については、令和7年10月現在で78.65%、後期高齢者医療保険加入者の登録率は同じく、令和7年10月現在で、74.14%との答弁でありました。第3款 民生費、生活保護費について、今の申請状況と現状はとの質疑に生活保護を利用している総世帯数については、令和5年度をピークに減少傾向で、今現在は450件程度。申請件数についてはほぼ横ばいで減となる大きな要素は単身高齢者の死亡に伴う減少が非常に高くなっており、世帯数としては減少しているとの答弁でありました。第4款 衛生費、妊婦のための支援給付等事業経費について、本年度の出産予定

数はとの質疑に、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの予定日で今年度生まれるだろうと思われる出産の数は170名前後と想定しているとの答弁でありました。委員より、不妊治療の成果はいかかとの質疑に、不妊治療の申請件数は毎年30件ぐらいから40弱ぐらいであるが、妊娠届の際に不妊治療の申請を出される方も見受けられる。正確にその30何名がその後妊娠したかどうかまでは、すべて把握はしていないか、ある程度妊娠届を出されているケースも見受けられるとの答弁でありました。第3表 債務負担行為補正 保育士派遣手数料について、人数的にはどのくらいみているのかとの質疑に保育士で7名、看護師で1名との精算しているとの答弁でありました。他にさしたる質疑なく、自由討議を求めたところ自由討議なく、賛否の発言を求めたところ発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第180号のうち市民厚生分科会所管分は起立全員で原案の通り可決すべきものと態度を決定いたしました。以上でご報告を終わります。

---

#### 市民厚生分科会

##### (質 疑)

野村美佐子 今の保育士の職員派遣料なんですけれども、前回もなんか少し質疑があったような気がするんですけど、4000万以上ということで、7人と1人ですか。合計8人のあれですけども、例えば職員を途中で、今の臨時職員で職員になりたい人とかも結構いるんですけども、採用を検討するとか、そういうふうにしたほうが、なんていうか派遣会社にお金を払うよりいいと思うんですけど、そういうようなやりとりとか、職員をふやすためにというか地元の人を採用するために、派遣ではなくて何か検討したり努力されてるかっていう話は出なかったでしょうか。

鈴木一之 特段にそういう細かいところまでの話はございませんでした。

大滝委員長 その他ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

---

#### 経済建設分科会

##### (報 告)

河村経済建設分科会長 ただいま上程されております、議第180号令和7年度村上市一般会計補正予算第11号のうち、経済建設分科会の所管する審査範囲についての審査の概要と結果についてご報告いたします。去る12月11日、経済建設常任委員会の審査に引き続き、市役所第1委員会室において分科会委員全員、副議長、副委員長、副市長をはじめ理事者出席のもと、経済建設分科会を開会いたしました。初めに歳入について担当課長より説明を受けた後に質疑に入りましたが、さしたる質疑はありませんでした。次に歳出について、担当課長より説明を受けた後に質疑に入りました。初めに第6款 農林水産業費についてはさしたる質疑なく、次に第7款 商工費について、委員より、ふるさと納税の返礼品等における経費はとの質疑に、返礼品にかかる経費は寄付額の3割以内という制限と、さらに送料、インターネットの決済手数料、職員人件費も加えて、5割を超えてはいけないというルールがある。なお、インターネットサイトは24サイトと契約しているとの答弁。次に第8款 土木費、第11款 災害復旧費、第3表 債務負担行為補正については、質疑なく、以上で質疑を終結し自由討議を求めたところ、姫路敏委員より、今回の補正予算にクマ対策関係の内容は含まれていないが、猟友会の皆さんにやりがいを持って頑張ってもらえるように、今定例会最終日までに

何らかの形で対応いただければありがたいとの意見がありました。富樫光七委員より、クマ対策関係の予算は市民生活にとって現実的に大事な部分であるので、ぜひ市民に伝えられるような形で進めていただきたいとの意見がありました。賛否について発言を求めたが発言なく、起立により賛否態度の取りまとめを行った結果、議第180号のうち、経済建設分科会所管分については、起立全員にて原案の通り可決すべきものと態度を決定しました。以上で報告を終わります。

---

経済建設分科会

(質疑)

大滝委員長 みなさんから質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

---

以上で質疑を終結し、自由討議を求めたところ自由討議が2件あり、

(自由討議)

姫路 敏

最初に総文関係なんですけども、いわゆる小学校の管理費で補修料は、その中にトイレの補修も入ってるってということで、初日にそういうのをちょっと聞きましたがそのときに、先ほども言いましたように瀬波小学校の件、今言いました。26のウォシュレットのうち14が故障、そのうち3つが電池が腐れてて、ウォシュレットのリモコンそのものを全部交換ということで、そうですねってということで、私学校教育課長から報告を受けました。これについてみれば瀬波小学校に限らず、よそもあると思うんで、調べたらいいんじゃないですかってことで、そうしますってということでそれはそれでいいんでしょうけどもその報告は、今回の補正に伴って、初日の私の質疑もあつたのをかんがみておそらく理事者側の報告があつて、委員会内であつたんでしょうけども、不思議でしようがないのは、瀬波小学校だけそうなるのか、他は本当にないのかっていうところの疑問が1つ、私はそれ聞いただけでも感じております。瀬波小学校だけ。そういうのであれば、瀬波小学校の実際のところ、学校教育課長からは、対応を今後先生方に、取ってもらいますって言ってるんですよ。その時は質疑の中で私は言わなかったですけども、いわゆるどうということかちゅうと、先生方がそこでいわゆるちゃんと作動するかどうか自分で座ってみるかなんかどうすんのかわかんないけども、取っていくと。私はその時にそういう先生の仕事なんかねって話したんですよ。一応小学校の方針として校長からそういうのお話を受けていますと。そうですかってもうそれ以上私言うことないんで。いわゆる他所の小学校はどういう体制で臨んで、そういう事故がないまま、修繕がないままできてるのか。もうそやっぱりね、私はそういうところも見逃さないでやっぱり委員会の中で質疑してもらいたいなと思ってますよ。やっぱり、瀬波小学校だけ突出してそうなるってというのは瀬波小学校だけやり方が悪かったのかまずかったのかということも不思議でなりません。今日は委員の皆さんもいらっしゃいますし、全体の中でのことなんでちょっと申し上げたいと思いますけども、今後やっぱりそういうのを見逃さずに、やっぱり質疑して、そして改善されるべきところは、学校教育課長にも訴えて、教育長もいらっしゃるわけですから言ってもらいたいなとは思っております。どんなものでしょうかね。誰か何かないでしょうか。

尾形修平

私も総務文教委員会の委員なんで、その時の状況を私が覚えてる範囲でお答えさせていただきますと思いますけども。この件に関しましては、学校教育課長から、すべて

の小中学校に関して調査をしたと。その中で、不具合がなかったというふうな報告を冒頭に受けたと思います。保護者から、また先生から、児童からそういうような苦情とか、相談とかもなかったんですかというような質疑もあった中で、ないという答弁だったと思うんで、それ以上を委員として追及できるかっていうと、なかなかそれはできない状況ではなかったかなっていうふうに私は思います。

姫路 敏

だから追及とかそういうことじゃなくて、私が言いたいのは瀬波小学校だけ突出してるのかなとしか思わざるをえないじゃないですか。だから、そこでいえるのは、他の学校はどんなふうな管理をしてんだらうと、そういうことなんです。別にそれがいいとか悪いとかじゃなくて、そうすれば学校教育課長が私に言ったことと同じこと言うと思うんですが、瀬波小学校は今後学校の先生、教師とかが見てやっていくということ言ってるんで、私はそこではこれは私の範疇じゃないなと思ったんであれですけども。そういう、本当に言ってることは小さな、私も本当小さなことで、何でこんなことでトイレの話出さんでもいいと思ってる人の声があるかもしれないんですけども、そういうことじゃなくて、その学校の管理体制、すべてのことがいえるのかなと思ってるんです。学校ごとに違うのかなと。私は考えてみたら、26のウォシュレットうち14個が動かなかったんですよ。

野村美佐子

確かに瀬波小のあれが自分の頭に大きくなかったっていうのはあって、なぜそういう故障がたくさんあったのが放置されて、他のところではなかったのかっていう。確かにその質問すればよかったなというふうには今思います。ただ、あのときはその子供たちが使えなくなるっていうのが一番わかっているんで、子供たちが言えるような、なんていうか、システムというか、学校の雰囲気というか、そういうのを作って欲しいなというふうに私その時発言したか、違うところで言ったかわからない、課長に言ったかわからないんですけど、そういう思いはもちろんあったので、それが残るような形で、議論できればよかったなというふうに思いますけど、その瀬波のがすごく頭に自分はなかったんで、そこまでの追及できませんでしたが、今後やっぱり1つ1つ、問題があるんであれば何が問題だったのか、これからはどうやって解決するのか、その視点を議員として自分も持っていきたいと思いました。

姫路 敏

ありがとうございます。わたしも本当にそう思います。本当に子供たちがね、使う側の子供たちがやっぱり、先生ウォシュレットを動かないよとか、そういう環境でなかったんだらうなっていうのが、今言われてそうなんだよねって思いました。それももう小さいことだけでも、学校体質にもよるんだらうし、何かいろいろあるんかもしれないですけども。一応私なんか絶対もうボットントイレだったから、学校で大便だけはしないようにと思って私は子供のとき帰ってきたのを思い出しました。そういう環境じゃなくて、できるような子供たちの生理環境の中にあって欲しいなと、こういうふうに思っております。

菅井晋一

これ私さっき野村さん言った話なんですけど、隣にいるもんですから、隣で野村さんとこれは先生のしつけの問題っていうかね、子供が先生にぱつと言えないような状況なんだよねみたいな、しゃべってた記憶があります。それやっぱ会議の中でね、学校の体制はどうだったみたいな話をすればよかったのかなと感じました。すいませんでした。

姫路 敏

議事録に残さんばないので。今委員長、経済建設常任委員長からみんな詳しくお話あったようにですね、熊のやっぱり補正っていうのを随分と私のほうでも言わせてもらいました。協議会にまで切り換えてありがたかったなと思っております。ゆえにです

ね、おそらく補正にも前向きに対応してくれたのかなと思っておりますので、旬の話は是非とも各常任委員会のために、その都度あると思うんで、ぜひどんどんお話できればなと、こういうふうに思っております。ありがとうございました。

大滝委員長　そのほかございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

（討 論）  
（「なし」と呼ぶ者あり）

以上で自由討議を終結し、討論を求めたところ討論なく、起立による採決を行った結果、議第180号については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと決定した。

---

委員長（大滝国吉君）閉会を宣する。  
（午前10時28分）